（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	プティ倶楽部２号館			
○保護者評価実施期間	令和7年　1月　１0日	～	令和７年　３月　15日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	28名(27家族)	（回答者数）	27家族
○従業者評価実施期間	令和7年　1月　10日	～	令和７年　３月　10日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5名	（回答者数）	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和７年　３月　21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所のフロア面積が広く、色々な活動が行える。 ・児童一人に対して3㎡以上のスペースを確保できており、室内での活動も工夫をすれば色々な事が行える。 ・雨天時などでも室内でボール遊びやサーキットトレーニング等の体を動かす運動も行える。	普段通い慣れている、事業所内で納涼祭や保護者会を行うことで、環境の変化に敏感な利用児童も安心して参加することができ、ご家族も普段の様子が見ることができます。また、ご家族同士の交流の場にも繋がっております。 夏の猛暑、冬の厳寒で外活動が厳しい時期でも、工夫をすれば室内で体を動かすレクリエーション活動を行うことが出来ます。	室内での活動が固定化してしまわないよう、職員間での話し合いや、研修などに参加する機会を設け、新しい活動に取り組んでいけるよう致します。
2	・子供や家族からの相談や申し入れについて、迅速に対応を行っている。 ・ご家族の悩みや、子供の発達状況など密に報告相談を行っている。	ご家族からの悩みや相談等、話し合いが行えるよう、年に2回の面談、モニタリングを実施。また直接話をしづらいご家族からは、気軽に相談できるようHUGシステムのメールなどのやり取りや、社内専用の携帯電話を使用し、いつでも連絡が取れるよう対応を行っている。	今後も児童、ご家族の意見や意向を大切に、現場職員や児童発達支援管理者、管理者間の情報共有をしっかり行いながら、ご家族や児童の皆様が安心して相談できる事業所を目指していきたいと思います。
3	・毎月の研修や安全計画を実施し、ご家族や児童にも分かるよう、お便りやHUGシステムでの公開を行っている。	毎月の研修、勉強会では法定研修の他にも職員間で疑問に思っていることや知りたいことなどを取り入れ、管理者を中心に様々な内容で研修を実施している。また、年に2回の保護者会では法改正の説明や今後の会社全体の目標、指針について代表自ら保護者に向けて説明を行っている。	児童にとってより良い支援が行えられるよう、今後も職員一人一人のスキルアップにつながるような研修を続けていきたいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・バリアフリー化が出来ていない。	事業所が2階にあり、階段の昇降が急で危険。	構造上、エレベーターなどの設置は行えないので、児童が昇降する際は職員が付き添いながら事故防止に努めてまいります。
2	・放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他の子どもとの活動の機会が少ない。	色々な児童が利用しており、環境の変化に敏感な児童や慣れていない人が苦手な児童など様々です。現段階で他の子どもと一緒に活動を行うのは難しいかと考えております。	障害の有無に関わらず誰もが平等に安心して自由に生活できるように、心理・物理・制度的バリアフリーな社会創りを目指す。
3			